

整理番号	HT25104	分野	医歯薬学、生活	(キーワード)和漢薬
------	---------	----	---------	------------

富山大学

和漢薬ってこんなに身近にあったんだ！ ～五感を使って和漢薬体験～

先生(代表者)	伏見裕利(ふしみひろとし) 民族薬物資料館・特命准教授				
自己紹介	日本の伝統医学である漢方医学では身の回りにある植物、動物、鉱物に由来する生薬を用いています。私は生薬にどのようなものがあるのか研究しています。高価な生薬の中には偽物も存在するため、鑑定できる能力が必要です。伝統医学の知恵や知識の中には、現在でも見直されるべき事柄がたくさんつまっております。そのため日常生活に役立つことも多く、学ぶことの大切さがわかります。				
開催日時・主な募集対象	平成 25 年 8 月 9 日(金)	(対象)	中学・高校生	(人数)	20 名
	平成 25 年 8 月 10 日(土)		中学・高校生		20 名
集合場所・時間	富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館		(集合時間)	9:30	
開催会場(集合場所)	富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 住所:〒930-0194 富山市杉谷 2630 アクセスマップ: http://www.u-toyama.ac.jp/access/sugitani/index.html				
内 容					
<p>和漢薬ってどんなもの？お薬といっても、実は普段の食事に入っていたり、近くに生えていたり、意外と身近なところにあります。漢方医学の考え方から自分の体質も判断してみましょう。標本数日本一の民族薬物資料館で、和漢薬に直接触れたり、香りを嗅いだり(お香体験)、味わったり(薬膳弁当、手作りチャイ)……。五感をフルに使って和漢薬について学習します。資料館の展示品の解説はもちろん、情報技術を応用してバーチャル展示をしながら富山のくすりの歴史についても学習します。</p>					
			葛 根 湯		
スケジュール			持 ち 物		
9日(金)／10日(土)とも同一日程			筆記用具 (昼食はこちらで用意します。) アレルギーのある方は、ご自分で昼食の用意をお願いいたします。		
9:30-10:00	受付(民族薬物資料館1F)				
10:00-10:30	開講式(あいさつ、オリエンテーション、自己紹介、科研費の説明)				
10:30-11:20	講義「陰陽虚実に基づく体質判別」(途中10分休憩)				
11:20-12:00	民族薬物資料館 展示室見学				
12:00-13:00	昼食休憩(薬膳弁当)				
13:00-13:30	桂枝湯や葛根湯に配合される生薬の選別・鑑定				

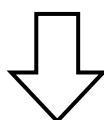
13:30-14:00	講義「富山のくすりの歴史について」バーチャル展示を織り込んで	特記事項 薬膳弁当やチャイの原材料に、アレルギーを引き起こす食品が含まれる場合があります。受講者には事前にアレルギー調査用紙をお送りしますので必ず返送してください。
14:00-14:10	休憩	
14:10-15:00	チャイ作りと利きチャイ	
15:00-15:30	お香体験	
15:30-16:00	学習の振り返り&発表	
16:00-16:20	修了式(アンケート記入、和漢薬博士号授与、あいさつ)	
16:20	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	富山大学 和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館 技術補佐員 林 珠央(はやし たまお)
住所：	〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630
TEL 番号：	076-434-7150
FAX 番号：	076-434-7150
E-mail：	museum@inm.u-toyama.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月9日(火)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
伏見 裕利	H23-25	基礎研究(C)	23501223	日本民間薬の現地調査と民族薬物データベースの充実



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。